

時間割コード	G3D21409	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュⅣ（上級）					担当教員	塚原 永生子
英文授業名	Practical EnglishⅣ						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	JⅡ【1】
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical EnglishⅢに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（広告・案内文・手紙など）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験においてグローバル化に対応できることを示す高スコアの取得にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	第1回 イン트로ダクション 第2回 30 Years of Pokémon's global success (Chapter1) 第3回 復習テスト、Making helmets safe and cute (Chapter 3) 第4回 復習テスト、Benefits of sleeping on the job (Chapter 4) 第5回 復習テスト、Cosplaying going global (Chapter 5) 第6回 復習テスト、Resume photo influences hiring decisions (Chapter 6) 第7回 復習テスト、Quiet cuts (Chapter 9) 第8回 復習テスト、Night schools open doors (Chapter 10) 第9回 復習テスト、Saudi Arabia's big dream; A Dragon Ball theme park (Chapter 12) 第10回 復習テスト、Stop that noise! (Chapter 14) 第11回 復習テスト、Light up to freshen up (Chapter 15) 第12回 復習テスト、Women at the center of Celtic society (Chapter 16) 第13回 復習テスト、Making Omikuji accessible to everyone (Chapter 17) 第14回 復習テスト、Japan's evolving vending machines (Chapter 18) 第15回 復習テスト、Growing fine wine with AI (Chapter 20)・授業アンケート 第16回 期末テスト、まとめ 授業の進み具合によって、授業計画の内容の変更や微調整が発生する場合があります。						
(7)成績評価の方法	1 授業の習熟度を測る課題（*事前事後課題・*復習テスト）（40%） 2 *期末テスト(40%) 3 TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.0152 【上限10%】） 4 「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%) *事前学習：各回授業内で知らされる次回授業の予習課題 *事後課題：授業で習った範囲の確認課題 *復習テスト：毎授業冒頭で行う前回授業内容の習熟度を測る小テスト *期末テスト：授業内容と同レベルの実力問題 この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前課題として、授業前に各チャプターのReading箇所を読み込み、予習をしておいてください。また、その他の事前課題がある場合は、授業中にお知らせします。 ・事後課題は、授業の内容を確認する課題です。 ・次回の小テストに備えて復習をしてください。 ・課題の提出は、主にeALPSの使用を予定しています。						

(10)履修上の注意	・授業には教科書とパソコン（もしくはタブレット）を持参してください。 ・授業の進み具合によって、授業計画の内容の変更や微調整が発生する場合があります。 ・授業や課題をグループで行う場合があります。 ・授業開始後20分を超えた場合は、欠席扱いとします。
(11)質問,相談への対応	授業後やメール（eALPS上に掲載）にて質問を受け付けます。不明な点や疑問がある場合は、遠慮なくご連絡ください。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	『Insights 2026 世界を読むメディア英語入門2026』 ISBN978-4-7647-4242-0, 金星堂、2300円（税別）
【参考書】	特に指定はありません。